

令和2年度

# 自己点検・評価報告書

令和2年3月実施  
学校法人 神村学園

神村学園専修学校

## 目次

1	学校の教育目標	P1
2	本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画	P1
3	評価項目の達成及び取組状況	
(1)	教育理念、目標	P2
(2)	学校運営	P3
(3)	教育活動	P4
(4)	学修成果	P5
(5)	学生支援	P6
(6)	教育環境	P7
(7)	学生の受け入れ募集	P7
(8)	財務	P8
(9)	法令の遵守	P8
(10)	社会貢献・地域貢献	P9
(11)	国際交流	P9
4	学校評価の具体的な目標や計画	P10

# 令和2年度 自己点検評価表

神村学園専修学校

## 1 学校の教育目標

実学による人間性豊かな人柄

神村学園では学力向上と人柄教育を両立させることを教育理念としている。専修学校では「基礎分野」「専門基礎分野」「専門分野」をより深く学び、実習においては技術・技能を磨いていなければならない。しかしながら免許や技能はあくまでも仕事上の条件であり、人間としてのモラル、基本的なマナーを根底に置き、専門職としての職務を果たせるようになることが目標である。看護師・理学療法士・作業療法士・介護福祉士・保育士の免許が最大の目標ではなく、その資格・免許を通して社会に貢献できる人材育成を教育の目標

(日本語学科) 日本語教育並びに建学の精神である人柄教育を通し、国際社会に貢献できる資質を備えた感性豊かな人材を育成する。

責任

自分の行動や感情に対して責任を持ち、すべてに対して誠実に対応できる人材の育成に努める。

## 2 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

「アドミッション・ポリシー(入口)」、「カリキュラム・ポリシー(中身)」、「ディプロマ・ポリシー(出口)」についての基本的方針を策定・実践する

①国家試験全員合格 ②授業の中身の充実 ③オープンキャンパスの充実(募集活動の充実) ④環境美化に努める ⑤就職支援活動 ⑥専任教員養成講習会において看護学教育を深く学ぶ。 ⑦社会性、コミュニケーション、創造力の向上 ⑧留学生の大学進学率を上げる ⑨専門学校・大学合格、日本での就職等、学生個々の目標達成のためのカリキュラムの実施

### 3 評価項目の達成及び取組状況

適切・・・4, ほぼ適切・・・3, やや不満・・・2, 不適切・・・1

(1)教育理念、目標		評価
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	3
2	学校における職業教育の特色は理解しているか	3
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色将来構想などが学生保護者等に周知されているか	3
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

#### ①課題

- ・学生1人1人と向き合い、学力向上に努めていく必要がある。
- ・学習の習慣化と職業に関する魅力を伝えモチベーションを上げていく。
- ・基礎知識や専門知識の理解を深め技術として活用することがまだ難しい。
- ・個人のコミュニケーション能力と臨機応変に場の空気を読んで動く能力は、これまでは様々な学校行事の中で培われてきたと思われるが、新型コロナの影響で、その行事がすべて中止になった。これをどのような形で補うか。大変難しいと思われる。
- ・作業療法士の必要性をうまく高校生たちに伝えられていない
- ・コロナウィルスで新入生が入国できない時期の収入の確保および状況回復後の募集
- ・専門職に就く学生たちなので、身だしなみや挨拶等、各学科取り組むこと
- ・多様化する学生個々に対応した教育が必要
- ・昨年より休学者・退学者は減ったが、休学者・退学者が0名にならない。
- ・昨年は国家試験全員合格が達成できてない
- ・学科としてのディプロマポリシーの欠如とそれに紐づけられるカリキュラムポリシーが曖昧となっている。それにより場当たりの方針決定や教材選定、対処療法的な問題への対応が日常的となり、PDCAが全く行われていない。

#### ②今後の改善方策

- ・文献の洗い出し、授業の進め方の見直し。
- ・基礎知識と技術(リハビリ手技etc)を関連付けて面白さ、魅力を付与した授業の構築。
- ・出来ることを続けていく。例えば常々言われている『あいさつ』を学生自ら行う習慣を身につける。あいさつは他者に向けて発せられる最も基本的なプラスのストロークで有り、まず自ら他者に対して心を開く練習でもある。したがってその意味を学生に伝え、納得の上で自ら進んで実行していけるようにしたい。
- ・OCの内容の改善
- ・職員も意識を高くもつ。職員が率先してまずは見本を見せること
- ・職員間での綿密な情報共有
- ・モラル、基本的なマナーを根底におき、人とかかわりは、信頼と心の豊かさ、責任感、命の尊さ、やさしさ、思いやり、約束ごとの遵守、やる気と情熱等人間性の豊かさを各教員の意識して全ての業務に取り組む
- ・ディプロマポリシー、カリキュラムポリシーを明確化し教員間でのすり合わせを行う。カリキュラムポリシーに基づく方針決定、教材選定を行う。PDCA(計画→実施→評価→分析)サイクルを徹底し問題解決を行う。

#### ③特記事項

- ・学生に受け入れやすい動画などのツールの利用ができる環境(WIFI)を活用していきたいです。

(2) 学校運営		評価
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	3
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	3
5	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
6	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3
7	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

## ① 課題

・プライバシーポリシーに関する情報をもとに努めていく必要がある。  
 ・情報システム化等による業務の効率化に関して、まだ自分自身がうまく効率化図れていない。  
 ・海外から数ある日本語学校の中で鹿児島、鹿児島の中で神村学園を見てもらうにはどうすればよいのか。また、留学生だけでなく技能実習生や特定技能などにシフトしていく業界で受け入れる施設や企業の確保。

## ② 今後の改善方策

・個人情報保護について見直し、勉学に努める。  
 ・システムを効率化するためにも情報の整理など見直す。  
 ・まだまだ海外では口コミが強いので、これまでどおりのSNSを使った広報活動に加えOBにも宣伝してもらおうといいのでは。その上で優良な現地学校を選ぶ眼も必要。国内の就職先施設や企業は神村学園のネームバリューを使って提携先を地道に獲得していくしかないのでは。

## ③ 特記事項

特になし

(3)教育活動		評価
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
6	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	3
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	3
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか	3
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	3
13	関連分野における先進的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	3
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

①課題

・計画的な研修、施設外、施設内含めて計画不足、時間確保、評価体制の不足  
 ・学内で開催される研修会には概ね参加できたが外部への研修参加はできなかった。  
 ・学生の学力低下と自主的に学習に取り組む姿勢

②今後の改善方策

・具体的な計画と実行  
 ・研修会案内など情報収集に努める。  
 ・主体的に学習できるように方向づけることが必要。講義の後、補講を行うなどして、理解の定着を図る

③特記事項

適切・・・4, ほぼ適切・・・3, やや不満・・・2, 不適切・・・1

(4)学修成果		評価
1	就職率の向上が図られているか	3
2	資格取得率の向上が図られているか	3
3	退学率の低減が図られているか	3
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

①課題

- ・国家試験合格率が低下している。
- ・卒業生の動向の把握が出来ていない。
- ・コロナ禍でなかなか臨地との相互交流ができなかった

②今後の改善方策

- ・学生同士で主体的に学習に取り組めるようにする。繰り返し学習することで、知識の定着を図る
- ・実習訪問時に、実習生に関するだけでなく、出来る範囲で卒業生の動向に関して情報を集める。
- ・コロナ禍でも臨地との相互交流ができるようなシステムを構築する

③特記事項

- ・行事過多による職員・学生の負担に配慮する。

(5) 学生支援		評価
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
2	学生相談に関する体制は整備されているか	3
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
6	学生の生活環境への支援は行われているか	3
7	保護者と適切に連携しているか	3
8	卒業生への支援体制はあるか	3
9	社会のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

①課題

- ・実習等の学校外での活動、実習はあるがそれ以外での課外活動ができなかった。
- ・外国人学生に対する経済支援(学校奨学金)の充実
- ・コロナ禍による課外活動停止
- ・学生の精神的なフォローなどに関しては、なかなか分らないことも多く難しさを感じる。

②今後の改善方策

- ・リモート授業で臨床の作業療法士の講義など計画できたらと考えています。
- ・人数を限定した、返済型の奨学金制度をつくる。
- ・外部の専門的な方にお話を聞く機会などもうけられるといいのではないかと考える。

③特記事項

特に無し



適切・・・4, ほぼ適切・・・3, やや不満・・・2, 不適切・・・1

(6) 教育環境		評価
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を設備しているか	3
3	防災に対する体制は整備されているか	3

①課題

- ・コロナ禍で、精神科関連の実習施設がほとんど確保できなかった。
- ・その時代にあったものにアップデートしていく
- ・オンラインで海外の日本語学校と授業を共有できたら募集にも大いに繋がるのではないかと。また寮の整備も学生募集には必須と思う。
- ・ネット環境の充実
- ・施設、備品の老朽化

②今後の改善方策

- ・インターネット環境整備。寮の補修、整備。
- ・必要に応じて教育環境の充実につとめる
- ・管理、点検を定期的に

③特記事項

・いつ地震や災害が起こっても、安全に対応出来るように、避難経路だけは確保、確認しておく。

適切・・・4, ほぼ適切・・・3, やや不満・・・2, 不適切・・・1

(7) 学生の受け入れ募集		評価
1	学生募集活動は、適正に行われているか	3
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
3	学納金は妥当なものとなっているか	3

①課題

- ・コロナ禍で募集が困難を極めている。

②今後の改善方策

- ・全体的な業務の見直しと人員配置の見直し
- ・募集および事務職の人員確保

③特記事項

・募集の先生方が全国を駆け回っており、それが大きな力となっている。

適切・・・4, ほぼ適切・・・3, やや不満・・・2, 不適切・・・1

(8) 財務		評価
1	中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか	3
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3
3	財務について会計監査が適正に行われているか	3
4	財務情報公開の体制整備はできているか	3

①課題

・今年度はコロナによる影響を受けて、留学生がほとんど入国できていない状況だった。

②今後の改善方策

・コロナ明けに向けて、県内在住の外国人・関係者への呼びかけや新規校の開拓を行っていききたい。

③特記事項

・特になし

適切・・・4, ほぼ適切・・・3, やや不満・・・2, 不適切・・・1

(9) 法令等の遵守		評価
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3
2	個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	3
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3
4	自己評価結果を公開しているか	3

①課題

・学生の学習環境と教職員の勤務環境とを改善することで、もっと人の集まる場所になり得ると思う。そのために改善すべき点はまだまだあると感じている。

②今後の改善方策

・旅費精算がシステム化されることは大変有難い。目に見える形で改善が成されることによって働く意欲も高まるので、教職員全員が忌憚なく意見を言える職場であってほしい。

③特記事項

特になし

適切・・・4, ほぼ適切・・・3, やや不満・・・2, 不適切・・・1

(10) 社会貢献・地域貢献		評価
1	学校教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
3	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	3

①課題

- ・ころばん体操等、積極的に協力出来ているのではないかと思います。
- ・コロナ禍でボランティアができてない

②今後の改善方策

- ・現在、行っているころばん体操の継続。
- ・感染症が落ち着いたら、ボランティアなどの社会的活動にもどんどん参加してもらうように声掛けをしていきたい
- ・地域の行事などに参加する

③特記事項

- ・地域の行事には積極的に参加し、交流を図っている。

適切・・・4, ほぼ適切・・・3, やや不満・・・2, 不適切・・・1

(11) 国際交流		評価
1	留学生の受入・派遣について戦略を持って行っているか	3
2	留学生の受入・派遣、在籍管理等において適正な手続き等が取られているか	4
3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	3
4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3

①課題

- ・留学生の経済的バックアップ

②今後の改善方策

- ・奨学金病院の検討
- ・留学生に対する指導・援助に関して、日本語学科の教員にも援助をお願いしている。

③特記事項

特になし

#### 4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- ・学校運営は総合的にはほぼ適切であると思われる。さらに自己評価を活用しながら、より良い学校改運営を積極的に行う。
- ・情報公開や学校評価も実施できた。さらに客観性を持ちながら、透明性のある学校運営に努めたい。
- ・積極的な募集活動をもとに、各学科定員を満たし、基礎教科・専門教科の充実を図る。
- ・職員全員が周知し、同じ考えで動いていけるチームワークの向上が必要。
- ・自己評価の反省と課題を次年度に活かし学級運営、学校運営に努めたい。
- ・国家試験全員合格、1対1の対応など課題が山積しているので、日々努力して目標達成できるよう頑張る
- ・質の高い医療人を育成し社会への還元を図っていききたい
- ・この学校評価を行うようになって、毎年改善を意識するようになった。
- ・職員全体で、チームとして職業人の育成に力を入れていく
- ・職員が自己評価から得られる課題に対し学生の支援体制に繋げることを期待する。